

チーム豊成の力を高め、「潤いと勢い」のある学校づくり

# Connect



帯広市立豊成小学校 キャリアプロジェクト通信

令和6年11月14日  
NO.11 文責 菊谷

キャリア

## 「こだわりの農業」～和田さんの夢や思い～

安全でおいしいものを作り、元気で健康な毎日を・・・



キャリアプランニング能力の育成を目指します。ステキな大人の姿から自分の未来について考えます。

十勝の農業を体験し、その魅力を知り、発信する学習として、今年の5年生は、「中村農園」で玉ねぎの栽培を経験し、作物を育てる魅力や苦労を感じ取ることができました。そして満寿屋パンの社長さんとの地産地消のピザ作りで収穫の喜びを味わうことで、実際に十勝の素晴らしさを体験することができました。

農作物は、種を植えれば育つというものではなく、農家の方の深い愛情と、研究、努力の結晶であること。それを教えてくださるのが、帯広市基松町でごぼうを栽培する「和田農園」の和田政司さん。（校区内に住んでいます）5年生にとっては今年度出会う最後のステキな地域の大人です。

講演の前に、まず、和田さんのごぼうを試食してもらいました。ごぼうを揚げてさっと塩をふったものです。「あまいった!!」「おいしい！」子どもたちから驚きの声があがります。あまりごぼうが好きではなかったという子も、和田さんのごぼうに驚いた様子でおかわりをしていました。

和田さんがおいしいごぼうを育てるために力を入れていること、それは「土作り」です。人は食べ物から命をいただいています。その食べ物は土の栄養（命）をいただいています。その「土」を大切にしていかなければならない…。「土も生命」なのです。子どもたちの心にとても響く言葉でした。和田さんの土には、歯舞や三石から取り寄せた昆布の根や、米ぬか、酒かすなど、たくさんの栄養が含まれています。和田さんが長年研究を重ね、その年の天候や状況に合わせて、配合を工夫しているのだそうです。ミネラルたっぷりのこだわりの土作りは、「みんなに安全でおいしいごぼうを食べてもらいたい。」「みんなに健康でいてほしい」という和田さんの夢やねがいです。情熱をもって作物を育てていることが伝わりました。また豊成小学校の6年生が作るザリガニ堆肥もミネラル豊富なよい土づくりに大切だというお話も聞くことができました。

..... 児童のふりかえり .....

- ・和田さんのごぼうを食べて、こんなにやわらかくておいしいんだ！とビックリしました。ミネラルいっぱいの栄養がある土を何年も研究して努力することがすごいです。私も努力してよいものを作りたいです。
- ・和田さんの畑のミネラルと、豊成小の花壇の土は、似ているかもしれないとわかりました。ザリガニ肥料を来年6年生になったら頑張って作っていきたい。そうすれば、おいしい野菜を作ることができるからです。
- ・ごぼうが嫌いで食べなかったけど、とてもおいしいことがわかった。給食のごぼうは和田さんのごぼうだから食べようと思う。